

平成二十四年国土交通省令第五十六号

福島復興再生特別措置法に基づく通訳案内士法の特例に関する省令

福島復興再生特別措置法（平成二十四年法律第二十五号）第四十条第七項、第八項及び第九項において準用する通訳案内士法（昭和二十四年法律第二百十号）第三章、第四章及び第三十五条の規定に基づき、並びに福島復興再生特別措置法を実施するため、この省令を制定する。

（非居住者の代理人）

第一条 本邦内に住所を有しない者（以下「非居住者」という。）は、福島特例通訳案内士の登録を受ける場合には、本邦内に住所を有し、当該非居住者と業務上密接な関係を有する者であつて、福島特例通訳案内士の登録に関する一切の行為につき、当該非居住者を代理する権限を有するもの（以下「代理人」という。）を定めなければならない。

2 次のいずれかに該当する者は、代理人となることができない。

- 一 一年以上の懲役又は禁錮の刑に処せられた者で、刑の執行を終わり、又は刑の執行を受けることがなくなつた日から二年を経過しないもの
- 二 法人であつて、その役員のうち前号に該当する者があるもの

（登録事項）

第二条 福島復興再生特別措置法（以下「法」という。）第六十三条第七項において読み替えて準用する通訳案内士法第十八条に規定する国土交通省令で定める事項は、次のとおりとする。

- 一 登録番号及び登録年月日
- 二 資格を取得した外国語の種類
- 三 非居住者にあつては、その代理人の氏名又は名称及び住所並びに法人にあつては、その代表者の氏名

（福島特例通訳案内士登録簿の様式）

第三条 法第六十三条第七項において読み替えて準用する通訳案内士法第十八条の福島特例通訳案内士登録簿は、別記第一号様式による。

（登録の申請）

第四条 法第六十三条第七項において読み替えて準用する通訳案内士法第二十条第一項の規定により登録の申請をしようとする者は、別記第二号様式による福島特例通訳案内士登録申請書を、福島県知事に提出しなければならない。

2 前項の申請書には、次に掲げる書類を添付しなければならない。

- 一 健康診断書
- 二 法第六十三条第四項に規定する研修を修了したことを証する書類（以下「修了証明書」という。）の写し
- 三 履歴書
- 四 写真（最近六月以内に撮影した無帽、正面、上半身、無背景の縦三・〇センチメートル、横二・五センチメートルのものであつて、台紙を付けないものをいう。第七条及び第八条第一項において同じ。）二葉

五 非居住者にあつては、その代理人に福島特例通訳案内士の登録に関する一切の行為につき当該非居住者を代理する権限を付与したことを証する書面及び当該代理人が法人である場合にあっては、その定款又は寄附行為及び登記事項証明書

3

福島県知事は、法第六十三条第七項において読み替えて準用する通訳案内士法第二十条第一項の規定により登録の申請をしようとする者又はその代理人に係る本人確認情報（住民基本台帳法（昭和四十二年法律第八十一号）第三十条の六第一項に規定する本人確認情報という。以下同じ。）のうち住民票コード（同法第七条第十三号に規定する住民票コードをいう。以下同じ。）以外のものについて、同法第三十条の十一第一項（同項第一号に係る部分に限る。）の規定によるその提供を受けることができないとき、又は同法第三十条の十五第一項（同項第一号に係る部分に限る。）の規定によるその利用ができないときは、その者に對し、住民票の抄本又はこれに代わる書面を提出させることができる。

（法第六十三条第七項において準用する通訳案内士法第二十一条第一項の国土交通省令で定める者）

第五条 法第六十三条第七項において準用する通訳案内士法第二十一条第一項の国土交通省令で定める者は、精神の機能の障害により通訳案内の業務を適正に行うに当たつて必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者（現に受けている治療等により今後障害の程度が軽減すると見込まれる者を除く。）とする。

（福島特例通訳案内士登録証の様式）

第六条 法第六十三条第七項において読み替えて準用する通訳案内士法第二十二條の福島特例通訳案内士登録証は、別記第三号様式による。

第七条 福島特例通訳案内士は、登録を受けた事項に変更があつたときは、別記第四号様式による登録事項変更届出書に登録証、当該変更が行われたことを証する書面及び写真二葉を添えて、福島県知事に提出しなければならない。

（登録証の再交付の申請等）

第八条 福島特例通訳案内士は、法第六十三条第七項において準用する通訳案内士法第二十四条の規定により登録証の再交付の申請をしようとするときは、別記第五号様式による登録証再交付申請書に、亡失した場合に於ては修了証明書の写し及び写真二葉を、著しく損じた場合に於ては当該登録証、修了証明書の写し及び写真二葉を添えて、これを福島県知事に提出しなければならない。

福島特例通訳案内士は、前項の申請をした後、亡失した登録証を発見したときは、遅滞なく、これを福島県知事に返納しなければならない。

（登録の抹消に関する届出）

第九条 法第六十三条第七項において準用する通訳案内士法第二十五条第二項の規定により同条第一項第一号から第三号までの規定のいずれかに該当することとなつた旨の届出をしようとする者は、次に掲げる事項を記載した登録抹消事由届出書に登録証を添えて、福島県知事に提出しなければならない。

- 一 氏名及び住所
- 二 福島特例通訳案内士の氏名及び住所（その相続人が届出をする場合に限る。）
- 三 登録番号及び登録年月日
- 四 該当することとなつた抹消の事由及びその期日

2 前項に規定するもののほか、法第六十三条第七項において準用する通訳案内士法第二十五条第一項第二号又は第三号（法第六十三条第五項第一号に該当する場合に限る。）に該当することとなつた旨の届出をしようとする場合には、福島県知事に提出しなければならない。

福島県知事は、第一項の届出をしようとする者又はその代理人に係る本人確認情報のうち住民票コード以外のものについて、住民基本台帳法第三十条の十一第一項（同項第一号に係る部分に限る。）の規定によるその提供を受けることができないとき、又は同法第三十条の十五第一項（同項第一号に係る部分に限る。）の規定によるその利用ができないときは、その者に對し、住民票の抄本又はこれに代わる書面を提出させることができる。

（登録の抹消の通知等）

第十条 福島県知事は、法第六十三条第七項において読み替えて準用する通訳案内士法第二十五条第一項第一号、第三号若しくは第四号又は法第六十三条第七項において読み替えて準用する通訳案内士法第二十六条の規定により福島特例通訳案内士の登録を抹消したときは、その旨を登録の抹消の処分を受けた者に通知しなければならない。

2 前項に規定する者（法第六十三条第七項において読み替えて準用する通訳案内士法第二十五条第二項の規定による届出をした者を除く。）は、前項の通知を受けた日から起算して十日以内に、登録証を福島県知事に返納しなければならない。

（登録簿の訂正等）

第十一条 福島県知事は、法第六十三条第七項において準用する通訳案内士法第二十三条第一項の規定による届出があつたとき、又は法第六十三条第七項において読み替えて準用する通訳案内士法第二十五条第一項の規定により福島特例通訳案内士の登録を抹消したときは、登録簿の当該福島特例通訳案内士に関する登録を訂正し、又は消除した旨を登録簿に記載するとともに、それぞれ登録の訂正又は消除の理由及びその年月日を記載するものとする。

（証明書の様式）

第十二条 法第六十三条第八項において準用する通訳案内士法第二十九条第三項の証明書は、別記第六号様式による。

（聴聞の方法の特例）

第十三条 福島県知事は、法第六十三条第八項において読み替えて準用する通訳案内士法第三十三条第一項の規定による処分に係る聴聞を行うに当たつては、あらかじめ、聴聞の期日及び場所を公示するものとする。

（団体の届出）

第十四条 法第六十三条第九項において読み替えて準用する通訳案内士法第三十五条第一項の団体は、その設立の日から二週間以内に、次に掲げる事項を福島県知事に届け出なければならない。

- 一 目的
- 二 名称
- 三 設立年月日
- 四 法人の設立について許可を受けている場合には、その年月日及び主務官庁の名称

